

日ト発第116334号

平成26年 1月10日

会 員 各 位

一般社団法人日本トンネル技術協会

事業委員長 桑 原 彌 介

公印略

### 施工体験発表会発表者募集のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

さて、恒例のトンネル工事に携わっている現場技術者による施工体験の発表希望者を下記のとおり募集致します。わが国のトンネル施工技術発展のため、奮ってご応募くださるようご案内申し上げます。

なお、発表者の意欲向上と発表会のレベルアップを図るため平成19年度より表彰制度を導入しており、優秀発表者を表彰することを申し添えます。

敬 具

記

#### 1. 募集課題：

##### ①第74回（山岳）「課題克服に取り組んだトンネル工事

###### －新技術、創意工夫、周辺環境への配慮－

近年、山岳トンネルは、難しい立地条件における高度な施工が求められているとともに、工事区域の住民や生態系などの環境への配慮も不可欠となっており、各種補助工法や新技術、創意工夫などの技術を駆使して施工がなされている。また、一方では、合理的かつ品質の良い構造物の施工も求められている。このため、今回は「課題克服に取り組んだトンネル工事－新技術、創意工夫、周辺環境への配慮－」をテーマとして募集します。

##### ②第75回（都市）「創意工夫・新技術によるトンネル・地下構造物工事」

###### －新設および改良・再構築の施工事例－

都市部の地下は、各種地下施設が輻輳しており、トンネルや地下構造物の新設に限らず既存インフラにおいても改良・再構築に際し、これらを守るために近接施工や狭隘な作業条件下での工事を余儀なくされている。さらには、環境に対する関心がこれまで以上に高くなっており、周辺住民やリサイクルなどへの配慮も不可欠である。このため、今回はこれらを含めた各種課題を克服するために行なった「創意工夫・新技術によるトンネル・地下構造物工事」－新設および改良・再構築の施工事例－をテーマとして募集します。

2. 開催時期：第74回（山岳）：平成26年6月24日（火）

第75回（都市）：平成26年6月25日（水）

3. 開催場所：発明会館 地下ホール

4. 発表時間：1題20分程度（質疑応答を含まず、発表件数により増減）

5. **発表方法**：液晶プロジェクターを用いた発表による(パワーポイント等のソフトを使用したパソコン)。
  
6. **応募方法**：概要を1200字程度に取りまとめ(様式自由、A4サイズ)、題名、所属・役職、氏名、連絡先、電話番号、メールアドレスを記載のうえ、2月21日(金)までに下記事務局宛て提出してください。メール、FAXでも結構です。

〒104-0045 中央区築地2-11-26 築地MKビル 担当：滝口  
一般社団法人日本トンネル技術協会 TEL：03-3524-1755  
E-mail：cyp@japan-tunnel.org FAX：03-5148-3655
  
7. **発表者通知**：提出された概要により発表者を選考のうえ、3月上旬に本人宛てご連絡致します。なお、その際発表者には原稿作成にあたっての要領等をご連絡します。
  
8. **スケジュール**

応募期限：2月21日(金)まで  
発表論文決定：3月上旬  
発表本論文提出期限：5月2日(金)(体裁:A4版、枚数:8枚(図表共))
  
9. **その他**：発表会後に優秀発表者の審査を行い、表彰者には後日あらためてご案内いたします。